

Bコース 西部幹線水路と 當麻寺 旧街道コース

大和平野西部の水田地帯に送水される「西部幹線水路」は、「東西分水工」から御所市内を流れ、葛城山の麓、国道30号線(通称「山麓線」)に沿って北上し、香芝市方面に続きます。このコースでは、珍しい「円形分水工」や景観の美しい山麓から見る「長尾水路橋」、大型のサイホン工(「馬見サイホン」)など吉野川分水の代表的な施設を見ることが出来ます。この区間は、「當麻寺」や中将姫ゆかりの「染め井」で有名な「石光寺」などの観光や農産物直売所で賑わう「道の駅ふたかみパーク當麻」、「二上山ふるさと公園」など、地域の魅力を満喫できるコースです。

全行程	13.6km	3時間35分
近鉄新庄駅	2.0km	30分
中戸新池	1.5km	25分
孝女の碑	0.9km	15分
長尾水路橋	0.9km	15分
竹内街道	1.5km	25分
當麻寺	0.6km	10分
馬見サイホン入口	1.1km	20分
子ども絵画分水槽	4.1km	60分
円形分水工	1.0km	15分
五位堂駅(近鉄)		



凡例

- メインコース
- 観光コース
- 駅へのアクセラート
- 吉野川分水
- 農産物販売所 (無人も含む)
- 展示スポット
- 道標
- 句碑
- 最寄りのバス停
- 休憩所
- 迷いやすい箇所
- 駐車場
- トイレ
- レンタサイクル

0 1:22,000 700m



612(推古天皇20)年、聖徳太子の弟、麻呂子が河内に建立し、7世紀後半に麻呂家の當麻氏がこの地へ移りました。本尊は中将姫の手による當麻豊茶屋の4m四方の極楽浄土園で迫力があります。ポタンの寺としても有名。

竹内街道
推古天皇の御代に日本で最初の官道として河内と大和を結ぶよう敷けられました。古来、當麻寺参りや伊勢参りの道として賑わった街道です。今も大和風の白壁の民家が立ち並び静かな郷愁を呼び起こします。

中戸新池
自然に囲まれたため池で、水辺を気持ちよく散歩出来ます。このため池にも吉野川分水が補給されています。

川を吉野川分水の水路が渡っています。

柿本人麻呂
柿本人麻呂は、万葉歌人のなかでも最も優れた歌人であったといわれ、その歌は、古代の神話のイメージを喚起させて、雄大なものがあります。この神社周辺はもともと柿本人麻呂が居住していた土地と言われ、死去の後に建立されました。

